



パテック フィリップ ジュネーブ

2016年7月

パテック フィリップ・カラトラバ7200/200R モデル 輝かしく魅力溢れるドレス、フラム・セッティング

パテック フィリップの新作、カラトラバ7200/200Rモデルには、ダイヤモンドのまばゆい美しさを引き立てる、新しいセッティング技術が採用されている。フラム・セッティングというその名称は、時計製作においてパテック フィリップが商標権を所有している。このセッティング技術は、時計の外装におけるマニファクチュール パテック フィリップの比類のないレベルを今一度立証すると共に、クラシックで洗練され、独自性に溢れたタイムピースを求める女性たちの望みに応えるものである。

ジュム・セッティングは、彫金、七宝と並び、時計製作における装飾技術として最も長い歴史を持つもののひとつであり、初期の携帯時計は、宝石により美しく装飾されているものが多かった。パテック フィリップ・ミュージアムの所蔵作品が示すように、1839年の創業以来、パテック フィリップは、ジュネーブの偉大な伝統であるこの希少なハンドクラフト技術を受け継いできた。クリエイティブ・ディレクター、サンドリン・スターン女史（ティエリー・スターン社長夫人）の指揮の下、パテック フィリップは今日、クラシックなグレイン・セッティングから、クロー・セッティング、バゲット・セッティング、スノー・セッティング（ランダム・セッティング）、高度なインビジブル・セッティングに至る、多岐にわたるセッティング技術を駆使したジュエリー・ウォッチの豊かなコレクションを提供している。またゴールドに貴石をセッティングしたTwenty~4®ハイジュエリー・コレクションも忘れることはできない。これらのタイムピースには創造性、芸術性、高度なノウハウと共に、パテック フィリップ・シールのきわめて厳格な認定基準に準拠した、非の打ち所のない製作技術が反映されている。

鍛錬された眼と確固たる手先

パテック フィリップの新しいセッティング技術であるフラム・セッティングは、現行コレクションにさらなる豊かさを加えるものである。そのデビュー作としてマニファクチュールパテック フィリップは、超薄型のオフィサーケースを備え、婦人用タイムピースのフラッグシップ・モデルのひとつであるピュアでシンプルな7200モデル（2013年発表）を選んだ。今回時計のケースに初めて応用されたフラム・セッティングは、ダイヤモンドにさらなる輝きと生命を与えている。142個のブリリアントカット・ダイヤモンドが、カラトラバ7200/200Rモデルのローズゴールド・ベゼルを、隙間なく2列に取り巻いている。あらかじめ穿たれたくぼみにダイヤモンドを配置した後、ダイヤモンドの2つの列に挟まれた部分のゴールド素材を爪状に形成する。研ぎすまされた彫刻刀を用い、これを2つに割ることにより、内側、外側のダイヤモンドをそれぞれしっかり固定する。これは細心の配慮、完璧な正確さ、卓越した観察眼を必要とする作業である。最後に各々のダイヤモンドが固定されていることを確認しながら、爪と、これに連なる炎のような微細なフォルムを注意深く磨き上げる。内側のダイヤモンドのサファイアクリスタル・ガラス側、外側のダイヤモンドのケース側面側には、それぞれゴールドの素材に微細な切り欠きが設けられており、光線がダイヤモンドを《下から》照らすことができるため、ダイヤモンドの燃えるような輝きがさらに強められている。また爪は、ダイヤモンドの列に対してジグザグに配列されているため、ベゼル全体に、デリケートな手編みレースのような趣が与えられている。さらにベゼル全面をダイヤモンドで覆うため、リュウズの両側には極小サイズのダイヤモンドがセッティングされている。



正統な技術によるセッティング

マニュファクチュール パテック フィリップのすべてのジュエリー・ウォッチと同じく、新しいフラム・セッティングは、マスター・ジュエラーの正統な技術により、パテック フィリップ・シールの認定規準に準拠して行われる。ダイヤモンドは、タイムピースの炎のような輝きを最大化するため、純白、透明なピュア・トップウェッセルトン・ダイヤモンドが用いられ、非の打ち所なくカットされている。またダイヤモンドは、すべてのテーブル面を水平に、同じ高さに配置し、軸を揃え、ケースのカーブと完璧にフィットしており、表面はあくまでも滑らかである。ダイヤモンドは物理的に固定され、決して接着剤などは使用せず、素材の表面をできるだけ完全に覆うように配置される。

模範的なエレガンスとハーモニー

フラム・セッティングによりエレガントに装飾された新しいカラトラバ7200/200Rモデルは、デリケートなケース側面のカーブ、ネジ式バーによる直線ラグなどを特徴とする、18金ローズゴールドのクラシックな超薄型のオフィサータイプ・ケースを備えており、シルバー・グレイ文字盤、ローズゴールドの植字ブレゲ数字、パール分スケール、やはりローズゴールドのペア型時・分針が完璧なハーモニーを実現している。26個のダイヤモンド付ピンバックルを備えたブリリアント・ロイヤルパープルのラージ・スクエア・ハンドステッチ・アリゲーター・バンドがさらに女らしさを強調している。搭載された超薄型自動巻ムーブメント、キャリバー240は、ムーブメントに22金偏心マイクロローターが統合され、Silinvar®製のSpiromax®髭ぜんまいを備えている。この伝説的なムーブメントのアーキテクチャーと精緻な仕上がり（面取り、ペルラージュ、コート・ド・ジュネーブ）を、サファイヤクリスタル・バックを通して鑑賞することができる。

新しいカラトラバ7200/200Rモデルは、ピュアなデザイン、他に類を見ないフラム・セッティング、高度な機械式ムーブメントにより、時を超越した婦人用タイムピースのクラシックとしての地位を約束されているといえるだろう。

《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

A D & P R ディレクター

大塚和泉

電 話：03-5209-8018（直通）

F A X：03-3256-7558

izumi@ppjapan.com

《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電 話：03-3255-8109

《パテック フィリップ ホームページ》

<http://www.patek.com>





技術仕様

パテック フィリップ 婦人用カラトラバ 《タイムレス・ホワイト》 7200/200R モデル

ムーブメント	キャリバー240 超薄型自動巻ムーブメント
直径：	27.5 mm
厚さ：	2.53 mm
部品総数：	161個
石数：	27石
連続駆動可能時間：	最小48時間
巻上げローター：	単方向巻上げ式22金偏心マイクロローター
テンプ：	Gyromax®
振動数：	21,600 振動 (片道) /時 (3 Hz)
髭ぜんまい：	Spiromax®
髭持ち：	可動式
セッティング機能：	リュウズの2位置 ・引き出した位置： 時刻合わせ ・押し込んだ位置： ぜんまいの巻き上げ
表示：	時針、分針 (センター)
認定印：	パテック フィリップ・シール
外装	
ケース：	18金ローズゴールド仕様オフィサーケース フラム・セッティングによる142個のダイヤ付ベゼル (約1.08カラット) サファイヤクリスタル・バック 3気圧防水
ケース寸法：	直径： 34.6 mm 長さ： 41.5 mm (ラグ~ラグ) 幅： 36.75 mm (3時~9時、リュウズを含む) 厚さ： 7.37 mm (サファイヤクリスタル・ガラス~サファイヤクリスタル・バック) ラグ間隔： 17 mm
文字盤：	シルバー・グレイン文字盤 18金ローズゴールド植字ブレゲ数字 18金ローズゴールド・ペア型時・分針
革バンド：	ラージ・スクエアのハンドステッチ・アリゲーター・バンド、カラーはブリリアント・ロイヤルパープル 18金ローズゴールドの14 mm ピンバックル、26個のダイヤ付 (約0.18カラット)